

いわき農林水産ニュース

平成30年1月号(第155号) 発行 1月25日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



ラナンキュラスは、花卉の光沢と
柔らかさが魅力の初春の花です

目次

- ・福島県農林水産部長より新年の御挨拶……………p.1
- ・いわき市 村上央農林水産部長インタビュー……………p.2
- ・第1回高校生レシピコンテストグランプリ決定……………p.4
〔管内の各種取組の実績(12~1月)]……………p.6~
- ・頑張るいわきの農業関係者リレーインタビュー……………p.9
〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果……………p.11
- ・第47回全国林業後継者大会一般参加者募集……………p.12
- ・イベント情報……………p.13
- ・6次化商品紹介……………p.13
- ・GAPコーナー……………p.14
- ・公式SNS「いわきフラキピタン」について……………p.15

新春を迎えて

福島県農林水産部長より新年の御挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、富岡町や飯舘村で本格的な米づくりが7年ぶりに再開されるとともに、沿岸漁業において、海苔養殖や魚市場の「セリ」が再開されるなど、原発事故からの復興に向けた「歩み」が確実に進んだ一年でありました。

また、将来の担い手として期待される新規就農者が平成27年から3年連続で200名を超え、桃や梨など農産物の輸出量が過去最高の実績となるなど、本県農業の未来に明るい希望を実感しております。

そこで、復興・創生期間の折り返しとなる平成30年度は、これまでの成果と復興・創生期間後のステージの両方を見据えながら、『流通・販売の強化』、『生産活動の拡大』、『生産基盤の整備』の3本を柱として、本県農林水産業の再生と成長産業化に向けた取組をしっかりと進めていく考えです。

いわき地方においては、昨年5月の「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」以降、「いわき地方GAP推進協議会」が中心となり、消費者や流通業者の皆さんの「確かな信頼」の確保に向け、GAP認証取得の推進に積極的に取り組んでいただいているところであります。

また、県内の主要な日本梨の産地としてベトナムへの輸出に取り組まれ、味や品質などについて現地で高く評価されるなど、「福島県産梨」のPRに多大な成果を上げていただいております。

県といたしましては、引き続き、安全・安心の確保や産地ブランド力の強化、輸出拡大に向けた取組をしっかりと支援してまいります。

さらに、本年6月10日には、南相馬市で「第69回全国植樹祭」が、前日の9日には、いわき市を会場に「第47回全国林業後継者大会」が開催されます。「林業後継者大会」は本県が発祥であり、全国各県を巡りいわき市において再び後継者の育成・確保に向けた本大会が開催されることは、非常に意義深いものと捉えております。開催準備に万全を期すとともに、森林林業の成長産業化に向けしっかりと取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬ御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。



〔福島県農林水産部
佐竹浩部長〕

いわき市 村上央農林水産部長に聞く

～いわき市の農林水産業復興の取組について～

インタビュアー：あけましておめでとうございます。2018年を迎え、今年3月で東日本大震災から7年経過となりますが、市の農林水産業の復興への取組を中心に、インタビューさせていただきたいと思います。村上部長、よろしくお願いいたします。

質問1 いわき市の農林水産業の特徴（特産品等）を教えてください。

村上部長：東北地方の最南端に位置し、太平洋に面したいわき市は、夏涼しくて冬暖かく、日照時間も長い等、大変気候に恵まれています。また、福島県の沖合は親潮と黒潮が交わり、プランクトンが集まる「潮目の海」であり、好漁場として知られています。

そんないわき市は、美味しい農林水産物が豊富です。「ブランド作目」のいちご、トマト、なし、ねぎの4作目をはじめ、とっくりいもやいちじく、ブルーベリーなど24作目を振興作目として指定しています。また、シクラメン等の花き、水稻もさかんです。

水産物としては、カツオやサンマ等の回遊性の魚から、アンコウ、ヒラメ等の沿岸性の魚まで、四季を通して多くの魚が水揚げされ、いわき市で水揚げされた水産物は震災前から「常磐もの」として高く評価されていました。



いわき市農林水産部
村上央部長

質問2 震災からの復興をはじめとしたいわき市独自の取組を教えてください。

村上部長：震災以降、福島第一原子力発電所事故の影響で、残念ながら福島県産の農産物は、取引先や消費者から敬遠される事態となりました。また、消費者自身に安全・安心を判断していただくための「ありのままの」情報を発信することが必要となり、「いわき見える化プロジェクト」を立ち上げました。平成24年度からは、情報発信強化プロジェクトチーム「見せる課」を設置、平成28年度には「魅せる課」と名称変更し、いわき市農林水産業の風評払拭、そして魅力発信に努めております。

また、平成27年には新たに地域ブランドとして「常磐もの」を立ち上げ、県内はもちろん、首都圏に向けても各種プロモーション事業を展開しております。PR活動としては、JR東日本の山手線や京浜東北線等で実施している「トレインチャンネル」を活用したり、地方局「東京 MX テレビ」で30秒版のコマーシャルを流していただいたりと、首都圏への販路拡大のため、PR活動に取り組んでいます。

さらに、「農福商工連携事業（農業・福祉・商工業）」を立ち上げ、園芸特産物の振興ということで、「いわきワイン」をつくっている NPO 法人 みどりの杜福祉会に市の未利用地を貸し出しています。これまでも、同法人が市内各地でブドウの栽培を行い、ワインを生産していましたが、未利用地の活用によって、さらに1万本程のワインを増産できるぶどう畑と販売施設の整備について、6次産業化の推進を目的に、国の支援により行われようとしています。

質問3 2018年を迎えて、いわき市としてどのようなことに取り組みますか。

村上部長：今年、本格的に取り組んでいくものとしましては、木質バイオマスエネルギーの利活用の検討や、昨年10月に東京都港区と、港区内の述べ床面積5千㎡以上の建築物に市の間伐材を積極的に使用していただく協定を締結したことから、この協定に基づく林業のより一層の振興に努めます。また、今年6月には、全国植樹祭の前日イベントである全国林業後継者大会が開催されます。県と連携しながら、充実した大会となるよう全力で準備を進めているところです。

そして、食材の安全性や作業者の労働安全確保に関する認証制度でありますGAPいわゆる農業生産工程管理認証についてですが、本市では、5事業者が第三者認証GAPを取得している状況です。海外輸出の促進や2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに農産物や水産物を提供できる可能性もありますので、市といたしましても、福島県や農業協同組合さらには、県漁連などの農業関係機関・団体と連携を図りながらGAP等の取得に向けた支援を行ってまいりたいと考えています。

しかしながら、2018年の重点的な取組として一番に挙げられるのは、これまでの取組を継続し、さらに充実させることだと思っています。最も大切な消費者の皆さんからの信頼を得るためには、継続した発信活動が必要だからです。特に、先に述べたように首都圏へのPR活動に力を入れているので、今年は地域外への発信にますます力を注ぎたいと考えています。



インタビュアー（左）
当所地域農林企画課 国分

インタビュアー：ありがとうございました。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

face book「いわき市魅せる課」

いわき市がスタートさせた風評被害対策プロジェクト「いわき見える化プロジェクト」の一環として、「魅せる課」の職員が、復興に向けて奮闘する農林漁業者・観光業者の姿や、モニタリング検査の様子、農林水産物や観光情報、復興に向けた本紙の取組などの情報を、親しみやすい形で継続的に伝えていきます。

→<https://www.facebook.com/misemasuiwaki>



いわき中央卸売市場・公設地方卸売市場の初市式

〔1月5日(金)〕

いわき中央卸売市場と公設地方卸売市場の初市式が開催されました。初市式は、水産部、青果部、花卉部、関連事業者など4部毎に行われ、開設者の清水敏男市長挨拶、菅波健いわき市議会議長祝辞の後、市場の発展を祈念し、関係者による三本締めで今年の初競りを祝いました。会場では、いわき市農業生産振興協議会がJA福島さくらネギ部会の協力で、いわき市産ねぎを使った温かいねぎ汁を振る舞い、参加者を暖めてくれました。



(花き初競りの様子)



(青果部関係者による三本締め)

また、青果部では、投げ餅が行われた後、威勢のよいかげ声で野菜や果物等の宝船が競りにかけられ、初競りが活気強く行われました。

また、青果部では、投げ餅が行われた後、威勢のよいかげ声で野菜や果物等の宝船が競りにかけられ、初競りが活気強く行われました。

(農業振興普及部)

第1回高校生レシピコンテスト（テーマ：いわき産トマト）グランプリ決定 いわきの高校生が情熱あふれる料理・スイーツを作る！

〔1月21日（日）〕

当所主催のレシピコンテスト2次審査を、常磐共同ガス(株)キッチンスタジオ「ステラ」(常磐湯本町)で開催しました。当コンテストは、いわきの特産品の魅力を若い世代に伝え、若いアイデアでさらなる魅力を発信することを目的に実施しており、第1回となる今回はいわき市内での生産が拡大しているトマトをテーマとしました。コンテストには、市内8高校から料理・スイーツ部門合わせて57作品の応募がありましたが、1次審査(書類審査)で各部門3作品を選抜し、6組の高校生による調理・実食審査を行いました。



主催者あいさつ
当農林事務所 森口所長

当日は、参加高校生とその家族、高校家庭科の先生方が開始前から集まり、会場は活気にあふれました。開会式には来賓として清水いわき市長が訪れ、参加高校生を激励していただきました。



高校生に激励の言葉をかける
清水いわき市長

開会式終了後、「ステラ」内には、参加高校生、審査員とスタッフのみとなり、家族や先生方にガラス越しに見守られながら、高校生は緊張しながらもデコレーションなどの時間も配慮しながら一所懸命に調理していました。審査員へ料理の自己PRする姿に純粋な情熱を感じました。その熱意が伝わったのか、審査員の表情からも本気が感じられました。

なお、審査結果は次のとおりとなりました。

料理部門

グランプリ

「トマトとマッシュルームの炒めもの」



磐城第一高等学校 2年 入澤 歩美さん

特別賞 (ワンダーファーム賞)

「トマトのイタリアン風カップパスタ」

いわき総合高等学校 2年 根本 里音さん
齋藤 真美さん

特別賞 (いわきFCパーク賞)

「トマト鯛めし (南予地方の鯛めし)」

磐城農業高等学校 2年 北郷 涼夏さん
伊藤 晴香さん
小林 りおさん

スイーツ部門

グランプリ

「カラフルトマトのレアチーズ」



勿来高等学校 2年 北郷 麗奈さん
宮川 流果さん

特別賞 (ワンダーファーム賞)

「Roll cake with Jewelry Tomatoes」

湯本高等学校 2年 横山 亜優奈さん
緑川 真果さん
小林 風優さん

特別賞 (いわきFCパーク賞)

「フラガール」

湯本高等学校 1年 渋谷 菜々子さん
茂木 愛実さん

表彰式では、賞状を授与した他、副賞として「いわき農林水産業の特産品詰合せ3万円分」、「ワンダーファームのトマト大箱2箱」、「いわきFCプレミアムグッズ」等が贈られましたが、結果発表時には、高校生だけでなくギャラリー側にもどよめきが起こり、大人の方々からの関心の高さも感じられました。

審査員講評もいただき、「レベルが高く僅差の中で差を付けるのが大変だった。」「調理する手際も慣れており良かった。」「若い人たちの発想の豊かさを感じた。」「今でもウチの調理場で働いて欲しいくらい。」など素晴らしい評価をいただきました。表彰式の最後には、常磐共同ガス(株)より協賛として、参加した高校生全員へスパリゾートハワイアンズのペアチケットのプレゼントもあり、会場全員が笑顔になったところで、マスコミ等の記念撮影、インタビューが実施され終了



(調理審査の様子)

しました。最後に、短期間でも様々な工夫を練って作品を応募いただいた市内高校生・関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

審査員の皆さん

株式会社ワンダーファーム	代表取締役	元木 寛 氏
	森のキッチン チーフシェフ	渡邊 和広 氏
	森のキッチン チーフパティシエ	半谷 克敏 氏
いわきFCパーク	館長	鈴木 直樹 氏
	RED&BLUE CAFE 店長	山崎 敦史 氏
くさの根株式会社	代表取締役	新谷 尚美 氏
いわき農林事務所	所長	森口 康弘

最後に、短期間でも様々な工夫を練って作品を応募いただいた市内高校生・関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

(企画部)



(表彰式後に笑顔で記念撮影)



(ワンダーファーム賞 作品)



(いわきFCパーク賞 作品)



テレビで見て！ 来て・味わって！ レシピコンテスト

期間限定

テレビ放送されます！

このレシピコンテスト美食審査の様子がテレビ放送されます！

- 日時：2月2日(金) 19:56~20:00
- 番組：KFB(福島放送)
県政広報テレビ番組
『Let's チャレンジ ふくしま』

※再放送：2月3日(土) 5:35~

グランプリ作品をお召し上がりください！

グランプリ作品2点が、期間限定で次のレストラン・カフェのメニューに加わります。ご賞味ください！

- 期間：2月10日(土)~18日(日)
- 店舗：①ワンダーファーム「森のキッチン」
(市内四倉町中島字広町1)
- ②いわきFCパーク「RED&BLUE CAFE」
(市内常磐上湯長谷町釜ノ前1-1)

株式会社平木材市場の初市開催！

〔1月11日(木)〕

いわき市内郷綴町にある(株)平木材市場において、買方や荷主など林業・木材関係者約100名が集まり平成30年「初市」が開催されました。式典では、平木材市場齋藤公男社長ほかによる新春の挨拶の後、参加者全員で乾杯が行われ、今後の平木材市場の発展及び取引の活性化を祈念しました。

市場内には、年末年始にかけて県内を中心に集められた素材約3,500m³と製材品約1,500m³が所狭しと並べられ、式典後、今年最初の競りが開催されました。

良質材が出てくる冬の時期ということもあり、いわき市内をはじめ県内外から集まった買方は、熱心に競りに参加していました。素材価格は、昨年秋から好調のため、今後の山側からの旺盛な出材につながることを期待されます。
(森林林業部)



(素材の競りの様子)

いわきコメの会が食味官能試験を開催

〔12月27日(水)〕

いわきコメの会が食味官能試験を開催しました。会員が生産した5品種計6点の米を、同一条件で炊きあげ、基準品との比較による食味評価を行いました。

評価は、香り、外観、味、食感の観点から実施し、試験の結果、青木薫氏(三和町)のコシヒカリが最高得点となり、次点は若松郁氏(渡辺町)のミルクークイーンでした。各会員は、試験の結果をもとに、来年からの米づくりに向け、品種選定や施肥管理について活発に意見交換を行っていました。



(食味試験の様子)

(農業振興普及部)

東京国際フォーラムで「FUKU FES 2017」に参加

〔12月23日(土・祝)〕

東京国際フォーラムで開催された県主催の「FUKU FES2017～ふくしま大交流フェスタ」にブース出展し、いわき市の観光・物産のPRを行いました。

いわき市観光パンフレットを配布したほか、かまぼこなどの「常磐もの」やサンシャイントマトを販売し、いわき製品のPRも行いました。また、アンケートに回答していただいた約150名に、常磐ものの「カツオのフレーク缶詰」をプレゼントしたほか、移住相談や「遠野和紙体験」なども実施しました。

イベントを通して、いわき市の魅力を首都圏在住者等に対してPRすることができました。

(いわき地方振興局)



(いわき市産品は完売しました！)

りんどう生産者の個別面談

〔12月21・22日(木・金)〕

りんどうの収穫が本格化する次年度に向けて、計画的な需要期出荷を目指すため、川前りんどう生産部会員を対象に、個別面談を行いました。当所職員が直接生産者の自宅を訪問し、今年度の生産活動に関する反省点や次年度の目標、取組事項などを聞きとるとともに、栽培管理上の改善点や、技術導入に関する提案と指導を行いました。



(面談の様子)

生産者からは、「いやぁ～慣れない作業で大変だった」という話の反面、「次の収穫はもっと販売本数を増やして儲けるぞ」という意気込みを伺うことができました。次年度の現地指導等の活動も気を引き締めて全力でサポートしてまいります。

(農業振興普及部)

水産エコラベル現地審査

〔12月6・7日(水・木)〕

本県水産物の「水産資源管理の推進」「風評払拭・販売拡大」を目的に、今年度より県では水産エコラベル認証の取得を支援しています。水産エコラベル認証は、公正な第三者である認証機関が「持続可能で適切に資源が管理された漁業」を認証するもので、国内版のMELと国際認証のMSCがあり、生産段階認証(漁業者)、流通加工段階認証(主に流通加工業)、養殖業の認証に分けられます。



(現地審査の様子)

このうち、福島県漁連が申請したMEL(生産段階認証)現地審査が12月6日と7日に行われました。現地審査は、MELの審査員が3つの審査要件「管理体制に関する要件」、「対象資源に関する要件」、「生態系への配慮」を踏まえたチェックシートに基づいて漁業者、漁協等の関係者へ質問する面接方式で行われ、関係者の水産資源管理への理解が深いこともあり、滞りなく終わりました。

今回審査を受けたMELの生産段階認証は今年度内の取得を目指しており、県では継続的な支援を行う予定です。

(水産事務所)

MELとMSCについて

- MSC : Marine Stewardship Council
事務局 : Marine Stewardship Council (海洋管理協議会)
設立 : 1997年 本部 : イギリス (ロンドン)
活動目的 : 「海のエコラベル」認証制度を通じて、持続可能な漁業の普及に向けた取組を行う。
- MEL : Marine Eco-Label
事務局 : (一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会
設立 : 2016年 本部 : 日本
活動目的 : 「MEL ジャパン」認証制度を通じて、水産資源の持続的利用や生態系の保全を図るための資源管理活動を推進する。



平成30年初漁（沼之内魚市場）について

〔1月9日（火）〕

いわき市漁協沼之内魚市場にて今年の初水揚げがありました。あいにくの悪天候のため、出漁船は勿来支所の底びき網船8隻のみでしたが、マダコやヒラメ、カレイなど約2トンが水揚げされました。

入札前に、いわき市漁協の江川組合長から挨拶があり、今年は試験操業をより前進させたいとの意気込みが述べられ、仲買人や選別作業に来た漁業関係者に対し、みかんが振る舞われました。



（初入札の様子）



（入札されたマダコ）

漁獲量は、海上が時化模様だったこともあり少な目でしたが、大型のヒラメが多数水揚げされました。単価は年末に高騰したヒラメで、最高値の3,000円/kgが付きましたが、全体としては11月並みの単価に落ち着きました。

翌日の10日には前日出漁出来なかった底びき網漁船5隻に加え、小型船54隻が約2トンの水揚げしました。釣りではヒラメを、カゴではマダコを水揚げしました。マダコは今期豊漁で、単価も上々です。

（水産事務所）

「平成30年いわき市森林組合林業労働安全衛生講習会」開催

〔1月12日（金）〕

いわき市森林組合主催による林業労働安全衛生講習会が、中央台公民館で開催されました。この講習会は、いわき市森林組合が林業労働災害の未然防止のため毎年開催しており、組合職員や作業班、関係事業体など80名が参加しました。

はじめに、主催者の田子代表理事組合長より「平成29年は無事故・無災害で事業を終えることができた。日頃から、一人一人が安全衛生に心掛けた結果であり、引き続き新年も無事故・無災害を継続して欲しい。」との挨拶がありました。



（田子代表理事組合長挨拶）

次に、いわき労働基準監督署安全衛生課後藤課長から「林業労働災害防止対策について」の講話並びに東北電力株式会社いわき営業所佐々木安全主査より「送、配電線付近での伐採作業の留意点について」の講話があり参加者は熱心に聴講され、最後に全員で「ゼロ災でいこう」を唱和し、講習会は終了しました。

林業の作業環境は、現場条件が一様でないため、労働災害の発生頻度が高く、重大事故になる傾向があります。講習会終了後、参加者から「安全作業の重要性を改めて認識した」との声も聞かれ、林業労働災害未然防止への意識の向上が見られました。県においても、安全パトロール等を通じて、労働災害の未然防止に積極的に取り組んでいくこととしています。

（森林林業部）

頑張るいわきの農業関係者 リレーインタビュー！ Vol.1

地元で土と人々のふれあいを大切に、笑顔の輪を広げています。

大和田自然農園 大和田智恵子さん、娘・増田笑さん

すべて手作り！“自然”を生かした体験型農園

智恵子さん：大和田自然農園では、ブルーベリー栽培や水稲を中心に、様々な作物を栽培しています。私たちの農園は、“自然”ありのままの姿を大切にし、農薬・除草剤不使用での栽培、ハウスもピザ焼き体験の石釜も全て手作りにこだわっています。平成28年には、開園15周年を迎え、これまで関わりのあった多く方を招待して記念式典も開催しました。私たちは、こういったつながりを大切にしたいと考えていて、実際に農園に足を運んでいただき、ブルーベリーの摘み取りやピザづくり、芋掘りなど様々な体験を通して、自然を実感していただいたり、地域のつながりが生まれていく場にしたと思っています。



インタビューにご協力いただいた
大和田 智恵子さん（右）と
娘の増田 笑さん（左）

ご主人の大和田 雅夫さんと3人で
協力しながら、農園を運営しています。

子どもの頃からやっぱり、農業が好き

笑さん：小さい頃から、両親の手伝いで農業に慣れ親しんできたので、自然に囲まれて仕事をするのが大好きです。いずれは農業をしたいと考えていたので、約4年前の結婚を機に、事務の仕事辞めて就農しました。農業は、太陽の下で汗を流しながら作業をしたり、天候によってその日の作業を考えたり、屋内での仕事とは違った楽しさがあって、大きなやりがいを感じられます。

SNSを活用して生まれた“つながり”

笑さん：カメラが趣味だったこともあり、FacebookなどのSNSを活用した情報発信に力を入れています。また、SNSの情報網を利用して、作物の収穫等のボランティアを募っています。一般の方で農作業をしてみたいと手を挙げてくださる方は思った以上に多く、夏休み中の子ども達とお母



（収穫したブルーベリーでピザづくり体験！）



さんなど、今年だけで数十名の方に参加していただきました。ボランティアの方には、好きなタイミングで自由に参加していただき、農業を通してできる新たな“つながり”を大切にしたいと思うんです。



（芋掘り体験）

今後の展望は・・・身近で、地域の活力となる農園を

智恵子さん：今後は、規模を拡大していくというより、ありのままの自然をみなさんに体験して



(農園を通したたくさんのつながりを大切に)

いただいたり、人と人とのつながりを広げていったり、身近で自然体の農園を目指したいと思っています。娘と思い描いているのは、手作りの農園カフェを開くことです。自然あふれる美味しいものを食べながら、よりみなさんと交流を広げ、地域の活力にもなるような場をつくるのが夢です。

農業に男女は関係ない。女性として、おしゃれも農業も楽しむ

笑さん：平成28年から、ふくしま農業女子ネットワークに入会していますが、いわきには女性農業者が少ないように感じています。私は、農作業でカ仕事もトレーラーの運転もしますし、農業に男女は関係ないと思っています。むしろ、これからの農業には、女性ならではの新しい視点やコミュニティが必要になってくると思います。おしゃれも農業も楽しみながら、互いに共感し、協力しあえるような女性のみなさんが、いわきにも増えていくことを願っています。



大和田自然農園で開催された「Fukuがあるのアグリガーデン」にて、ふくしま農業女子ネットワーク会員のみなさん

大和田自然農園

【ブルーベリー摘み取り・ピザづくり体験（土日限定・要予約）】

7月中旬～8月

この時期に、SNSで農作業ボランティアも募集します。

【お問い合わせ】

TEL：0246-36-2591 Mail：oowada.nf@gmail.com

所在地：いわき市好間町北好間字山崎 44



各種商品も販売中！

左から、甘酒「久保姫の舞」、「さくさくキャンディ」、好間町久保地区のコシヒカリ「久保姫の舞」、「ブルーベリードリンク」



↑ [Facebook](https://ja-jp.facebook.com/berryfarmiwaki/) : https://ja-jp.facebook.com/berryfarmiwaki/

→ [Instagram](https://www.instagram.com/oowada.nf/) : https://www.instagram.com/oowada.nf/

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（平成29年12月分）

□ 農林畜産物の検査結果

平成29年12月の農林畜産物モニタリングでは、検査した10品目26検体すべてにおいて放射性セシウムは基準値（100Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

内訳は（表1）のとおりです。また出荷制限状況は（表2）のとおりです。（企画部）

（表1）放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

ダイコン 1、ハクサイ 1、ギンナン 1、ネギ 1、シュンギク（施設）1、イチゴ（施設）1、トマト（施設）1、葉ネギ（施設）1、菌床しいたけ（施設）5、菌床なめこ（施設）4、牛肉 3、原乳 4
--

（表2）出荷制限および出荷自粛品目（12月末現在）

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、わらび（野生のものに限る*）、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ（摂取も制限）
出荷自粛	山菜	さんしょう（野生のものに限る）
	果物	クリ（該当生産者に限る）

※わらび（栽培）は平成29年9月11日に該当生産者に限り出荷制限解除されました。

□ 海産魚介類の検査結果

平成29年12月の水産物モニタリング検査では、826検体の魚介類を検査し、放射性セシウムの基準値（100Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

放射性セシウムの検出限界値未満（以下、ND）の割合は、平成29年12月には99.2%となっています。12月31日現在の出荷制限等指示魚種は（表）の10種類になっています。

（水産事務所）

（表）海産魚介類に関する国の出荷制限等指示

ウミタナゴ	サクラマス	ムラソイ
カサゴ	シロメバル	ピノスガイ
キツネメバル	スズキ	
クロダイ	ヌマガレイ	

平成29年12月31日現在

トピック

全国植樹祭テーマソングが決定しました！

平成30年6月10日（日）に開催される第69回全国植樹祭ふくしま2018大会のテーマソング「福ある島」が昨年11月に発表されました。

福島県にゆかりのあるボーカルグループ「GReeeeN」が制作した「福ある島」はふるさと福島への想いがあふれた楽曲で、現在、YouTubeにshort ver.がアップされています。

また、いわき合同庁舎においても楽曲の放送を行っていますので、ぜひお立ち寄りください（毎週水・金曜日正午より）。

「福ある島」（short ver.）のYouTube動画はこちら

→https://www.youtube.com/watch?v=0C2rA8k66_o

「福ある島」の歌詞はこちら

→<https://www.uta-net.com/song/240078>



キピタン
（植樹祭バージョン）

第47回全国林業後継者大会 一般参加者募集中！

6月9日（土）にいわき市で開催される「第47回全国林業後継者大会」の一般参加者を募集しています。当大会は、翌日10日に南相馬市で開催される「第69回全国植樹祭」の関連行事で、林業振興や若手林業者育成を目的に、林業関係者による活動発表やパネルディスカッション等が行われます。入場無料で、参加者には記念品の贈呈もありますので、下記によりぜひお申し込みください。

- 日 時：平成30年6月9日（土）13：30～16：30
- 会 場：いわきアリオス 大ホール
- 主 催：福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、いわき市、福島県

林業後継者だけでなく、林業に関心のある方・どなたでも参加できます！



第47回 全国林業後継者大会
2018福島大会 in いわき

6/9(土) 2018年
 入場無料

会場 いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール
 〒970-8026 福島県いわき市平字三橋1-6
 時間 13:30～16:30

一般参加者募集 100名様

詳細の申し込み書にご記入の上、持参・郵送または、FAXでお送りください。
 ※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。【抽選の日】2月28日（水）まで

主催 福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、いわき市、福島県
 後 援 林研庁、一般社団法人全国林業改良普及協会、公益財団法人大日本山学会
 大会運営 第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会
 福島県林研グループ連絡協議会、福島県南相馬市森林振興協会、公益社団法人福島県南相馬市・林業振興協会、福島県相馬市森林振興協会、福島県本荘町森林振興協会、福島県相馬市森林振興協会、福島県いわき市森林振興協会、福島県田代町森林振興協会、福島県西郷町森林振興協会、福島県北郷町森林振興協会、福島県南郷町森林振興協会、福島県東郷町森林振興協会、福島県西郷町森林振興協会、福島県北郷町森林振興協会、福島県南郷町森林振興協会、福島県東郷町森林振興協会、福島県西郷町森林振興協会、福島県北郷町森林振興協会、福島県南郷町森林振興協会、福島県東郷町森林振興協会

お問い合わせ・参加のお申し込み
 第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会 事務局
 (福島県林業振興課)
 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 (西庁舎6階)
 TEL 024-521-7426 FAX 024-521-7908

☆参加のお申し込みについて☆

締め切り
2月28日（水）

申し込み方法

チラシ裏面の申込書にご記入の上、持参、郵送又はFAXでお送りください。

あて先・お問い合わせ

第47回全国林業後継者大会
 福島県実行委員会 事務局
 (福島県林業振興課)

〒960-8670
 福島県福島市杉妻町2番16号
 (西庁舎6階)

TEL : 024-521-7426
 FAX : 024-521-7908

チラシは、大会ホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/47rinkoukeisya/>) からダウンロードしていただくか、いわき市林務課（市役所本庁舎4階）、県いわき農林事務所森林林業部（いわき合同庁舎3階）でも入手できます。

イベント情報

「新規栽培セミナー いちご・ねぎ・なし」 受講者募集中！

- 【いちご】日 時：平成30年2月 6日（火）
13：30～16：00
場 所：JA 福島さくら夏井支店
- 【ね ぎ】日 時：平成30年2月 6日（火）
9：30～12：00
場 所：JA 福島さくら夏井支店
- 【な し】日 時：平成30年2月 16日（金）
13：30～16：00
場 所：上平窪集会所

主 催：新たなふくしまの未来を拓く
園芸振興いわき地方推進会議

「いちご」「ねぎ」「なし」の栽培に興味をお持ちの方を対象に、新規栽培セミナーを実施します。各品目の栽培技術から販売状況、各団体の営農支援まで学べる内容となっています。皆様の農業への興味をカタチにしていきませんか？

お問い合わせ

いわき農林事務所 農業振興普及部
TEL：0246-24-6160



いちご
2月6日（火）
13：30～16：00
集合：JA福島さくら夏井支店
(いわき市平荒田目字中田45)

平成29年度

新規栽培セミナー

つくりたい
たべたい
たべてもらいたい
またつくりたい



ねぎ
2月6日（火）
9：30～12：00
集合：JA福島さくら夏井支店
(いわき市平荒田目字中田45)



なし
2月16日（金）
13：30～16：00
集合：上平窪集会所
(いわき市上平窪野舎88-2)

平成29年度

新規栽培セミナー



いちご
2月6日（火）
13：30～16：00
集合：JA福島さくら夏井支店
(いわき市平荒田目字中田45)

サンシャインの恵みを受けたいいわきで、農業をはじめませんか？ ※詳細があります

いわき市内にて、「いちご」「ねぎ」「なし」の新規栽培セミナーを開催します！ ※参加無料

□内容 栽培技術、生産・販売状況、各団体(JA、市、県)による営農支援など(農場視察あり)

□対象 各品目の栽培に興味のある方(定年後の就農希望、他産業で働いている、という方も歓迎)

□申込 申込書を記入して、郵送またはFAX、もしくは、電話またはEメールで参加の旨をお伝えください。

主催：新たなふくしまの未来を拓く 園芸振興いわき地方推進会議 事務局：福島県いわき農林事務所
TEL：0246-24-6160、FAX：0246-24-6196、Email：shinkouhukuyuu.af07@pref.fukushima.lg.jp

新規栽培セミナー申込書(※切：各セミナー開催3日前) 送付先：〒970-8028 いわき市平字梅本15 福島県いわき農林事務所農業振興普及部

品目(複数参加可)	名前(ふりがなも)	年齢	住所	電話番号

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」に掲載された 6次化商品をご紹介します！

歯切れの良い大根に柚子がマッチした「長久保の柚子大根」は、爽やかな香りが特長で、おなじみの「しそ巻き」に加え定番になっています。さらに、新商品「おこさん」(ピクルス、漬物、各8種)は、「漬物屋がつくるピクルス」として、だしなどで和のテイストを加えました。ピクルスはいわき産とまと「フラガール」などの野菜・きのこを中心に、漬物には「柚子大根」も加わり、食べきりサイズで、贈答用にもご自宅用にもおすすめです。ネット販売や、電話注文も受け付けますので、是非お問い合わせください。



お問い合わせ

有限会社 長久保食品

- いわき市好間町中好間字鐵治内28-2
- TEL.0246-36-3999
- mail:info@nagakubo.net
- Web:http://www.nagakubo.net/

長久保の
柚子大根

内容量：150g×3
販売価格：1,080円(税込)

箱は江戸時代のお弁当をイメージ

おこさん

ピクルス8種・漬物8種
内容量：70～100g
販売価格：各432円(税込)

- 右:ピクルス
いちご、アプリコット、とまと、しいたけ、なめこ、たまごなど
- 左:漬物
胡瓜、大根、あんず、もも、梅干など

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」は「ふくしま6次化情報STATION(<http://6jika.com/>)」に掲載されていますので、是非ご覧下さい。

第三者認証GAP取得に向けた研修会・相談会を開催しました

1月10日(水)に、JA福島さくらいわき地区本部にて、「第3回第三者認証GAP取得に向けた研修会・相談会」を開催し、22名の生産者および関係機関・団体が参加しました。

研修会では、田村地域のトマト生産部会事務局を担当するJA福島さくらたむら地区本部の新田耕弘氏から、同部会のJGAP団体認証に向けた取組事例について講演をいただきました。また、農林事務所より、水稲での第三者認証GAP取得に向けて必要な取組を説明しました。

個別相談会では、認証までの具体的な計画や、不安に感じている点について相談を受け、各専門担当職員がマンツーマンで対応しました。参加者からは「団体認証に向けて必要なことがわかった」「水稲での認証取得に取り組んでみたい」との声がありました。

今年も農林事務所一丸となって、第三者認証GAP取得支援や推進活動を進めてまいります。



(研修の様子)

2月はGAP推進月間です。

GAPに関する様々なイベントを実施します。

←例→

日程

2月6日 GAPセミナー(南相馬市)

2月14日 第4回GAPセミナーin東北(福島市)

日程・会場など詳細は、福島県ホームページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/>

推進大会
 GAP
 推進月間

GAPセミナー

PR活動
(メディア・流通店舗)

いわき農林事務所での取組

第4回「おいしい ふくしま いただきます!キャンペーン」におけるPR

- 日 時：平成30年2月4日(日) 10:00~
- 場 所：マルト湯長谷店(いわき市常磐下湯長谷町道下10)
- 主 催：県いわき農林事務所

消費者へ県産農林水産物の美味しさや安全性を再認識していただき、風評払拭・消費拡大を図るためのキャンペーンです。テーマは「いちご」と「ネギ」で、今回はさらにGAP推進月間の取組としてGAPの説明も行います。JGAPを取得したあかい菜園(株)のトマトも提供しますので、ぜひお越しください!

「第三者認証GAP取得に向けた個別相談会」の開催

- 日 時：平成30年2月7日(水) 13:30~15:30
- 場 所：県いわき合同庁舎3階 第2会議室

第三者認証 GAP 取得に向けた、普及指導員による個別相談会です。参加ご希望の方は、いわき農林事務所農業振興普及部(TEL:0246-24-6161)までお問い合わせください。

「平成29年度第3回いわき地方GAP推進協議会」の開催

- 日 時：平成30年2月中旬以降 予定
- 場 所：県いわき合同庁舎内

市場、小売、関係団体、関係機関が一体となり、生産から消費までの一連の流れにおけるGAPの需要拡大、理解促進を図ります。

いわき地方振興局公式 SNS

「Iwaki hula kibitan (いわきフラキビタン)」による情報発信を行っています！

福島県いわき市の魅力を県内外に広く発信し、皆さんに『いわきファン』になっていただけるよう、SNSを活用した情報発信を行っています。

FacebookとInstagramで、いわき市の素敵な風景や美味しい食べ物、いわき管内の旬な農林水産物の情報などを紹介していますので、ぜひご覧ください。

皆さんのフォローを
お待ちしております♪



いわき地方振興局 キャラクター 「フラキビタン」

“フラガールがうまれた街”いわきをPRするため、フラの衣装をまとった「フラキビタン」として、いわき地方を中心に県内外で活動中です！

Face book : <https://www.facebook.com/iwaki.hula.kibitan/>

Instagram : https://www.instagram.com/iwaki_hula_kibitan/

または、で検索！

いわき地方振興局 からのお知らせ

ふくしま・いわきフェスタ in 日本橋 開催！

東京都日本橋の福島県アンテナショップ「MIDETTE」において、いわきの魅力盛りだくさんのイベントを開催します。いわきの“旬”の産品販売や美味しい食べ物の振る舞いのほか、復旧・復興が進むいわき市の“今”を知ってもらう展示やご当地キャラによる観光PRなどを予定しています。

■日 時 平成30年3月 9日(金) 11:00~19:45

3月10日(土) 11:00~17:45

3月11日(日) 11:00~17:45

■会 場 日本橋ふくしま館 MIDETTE

■主 催 福島県(いわき地方振興局)



編集後記

今月の編集も終了し、「あけましておめでとうございます。」と思ったら、1月も終わろうとしています。月日が経つのは本当に早いですね。

目次のランタンキュラスの花言葉は、「とても魅力的」だそうです。今年は、より“魅力的な”ニュースになるよう、農業をはじめとした様々な分野の方へのインタビューを頑張りたいと思います。

先日はいわきにも雪が積もり、インフルエンザも流行する時期ですので、皆様身体にはお気をつけてお過ごしください。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>

